

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス レアレア岡垣校	公表日 令和8年4月13日
------	---------------------------	---------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	パーテーションを使用し視覚が制限できるようにしている	専門的療育を行うスペースの確保 調子の良くない状態の個別スペース確保 1つの部屋で、複数学年を見ていくことは難しいと思います パーテーションを増設し対応している
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	職員の希望休の配慮をしつつ、適切になるようにしている	職員が利用者1人に対し、目を離せず1人で対応しなければならないので、他利用者のこと、安全確保のこと、対費用のことを考えても難しいと思います スタッフが不足している時は、グループでの人員調整を行い、随時募集している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	児童にわかりやすい構造になっている バリアフリー対応もできている	障害特性対応した構造となっていないが、パーテーションを増加し、視覚的に制限ができるようにしている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	毎日の清掃に加え、定期的細かな掃除チェックを行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	4	臨機応変に対応している	個室がないため、パーテーションを活用して視覚制限をに対応している
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	5	2	朝・夕のミーティングで、その日や前日の児童の様子を共有し、ノートにも記載している 話しやすい雰囲気ができている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	改善が必要な箇所をどうやって対応していくか話し合っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	朝礼・終礼等、申し送りノートにて意見交換できている 業務内でのわからないことも相談出来ている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		行っていないため、今後は地域の外部組織と連携をとり評価に繋げていきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	ジョブメドレーや地域の研修会に参加出来ている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	児発管がプログラムを作成、その後職員間で朝礼もしくは終礼で共有している	必要に応じて資料を見て助かっている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	契約後、アセスメントを保護者から聞き取り、家庭での様子を汲み取りながら作成している	適宜ヒアリングをしています
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	ミーティングを活用し、普段の事業所内での様子を話し再検討している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画を修正検討する場面をノートで共有されてあるところが良いと思います	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	comiiというソフトを活用してアセスメントを行っている 利用者別のファイルが作成しており、適宜閲覧確認できること。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3	出来ている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員全員で取り決めている	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	固定化しないよう、職員間で話し合いを行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	利用児童の得意分野や苦手分野を把握し、時には苦手な事に挑戦したり、適宜行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	臨機応変に対応することもあるが、1人に偏らないように、気を付けている 事前に支援内容を共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	終礼にてその日の振り返りや改善点を共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の記録はとり、支援の検証と改善も同時に行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	基本は半年ごとに行い、見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		現在はできていないため、今後行ってきたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	出来ている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3		特に行っていないため、今後は連携を図り、情報共有を行っていく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	2	5		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	6		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	6		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5		情報もなく、こちらから問い合わせを行っていないため、今後連携を図ってきたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		現在はできていないため、今後行ってきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	web連絡帳や送迎時に日々の様子を伝えている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		情報提供は行っているが、参加しているかまでは把握できていない。 ご家族から助言を求められた時は、行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	契約時に説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	支援計画書を作成し説明を行った際に、ご家族の意向を踏まえているかの確認を行っている	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	同意を得て、署名・押印してもらっている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	事業所に来所して頂いたり、電話やLINEでやり取りし、助言を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		開催できていないため、今後は開催できるように、職員間で前向きに検討していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	早期改善につとめている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	インスタを活用している。活動内容の写真を撮り、ラインを活用し個別に保護者に送付している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	全職員に周知し、留意している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	ご家族については送迎時やweb連絡帳を活用し、配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	地域の児童を招待し、地域交流を行っている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		研修動画をみているが、各職員が何を担当するかまでは取り決めていないため、今後担当を決めていく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	年に2回避難を行っている	動画研修のみで実施訓練は行っていないため、今後行う話し合いを行っていく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	ヒアリングシートに保護者に記入してもらっている	保護者からの情報はあるが、医師からの指示書はないため、ご家族の許可を得て、医師に直接問い合わせをおこなっていく。 (現在はそんな様な児童はいない)
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	定期的にヒヤリハットでの改善点を実施している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		現在作成中であり、作成後職員間で共有し現場で機能するよう講じていく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		今後出来る様に、取り組んでいる
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	終礼にて報告を受け、対応している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2	ジョブメドレーを活用して、webにて研修をうけ、話し合いを行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	3		出来ていないため、改めて計画書に記載し保護者に説明ができる体制を整えていく	